

# 有限会社大谷建設

## 2023年度 環境経営レポート

(対象期間：2023年 6月～2024年 5月)



発行日：2024年6月30日



エコアクション21<sup>®</sup>  
認証番号 0009892

## 1. ごあいさつ

有限会社大谷建設は、設立以来、土木工事業を通して地域社会の発展に尽力してまいりました。今では土木工事業・機械器具設置業・解体工事業を展開しています。生活環境を良くすると共に環境配慮ができる会社になりたいと願っています。

# 環境経営方針

未来の子供たちにより良い環境を残すため建設業を通し、社内外への環境活動に自主的・積極的にとりくみ環境経営の継続的改善を推進します。

1. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
2. 二酸化炭素排出量の削減を推進します（電気、ガソリン、軽油、灯油）。
3. 廃棄物の削減とリサイクルを推進します。
4. 飲み水以外の雨水の利用を推進します。
5. ICTを利用し作業効率を向上しCO2を削減します。

本方針を全従業員に周知徹底します。

制定日 2013年9月1日  
改定日 2022年1月24日  
代表取締役 大谷 幸司

## 2. 組織の概要

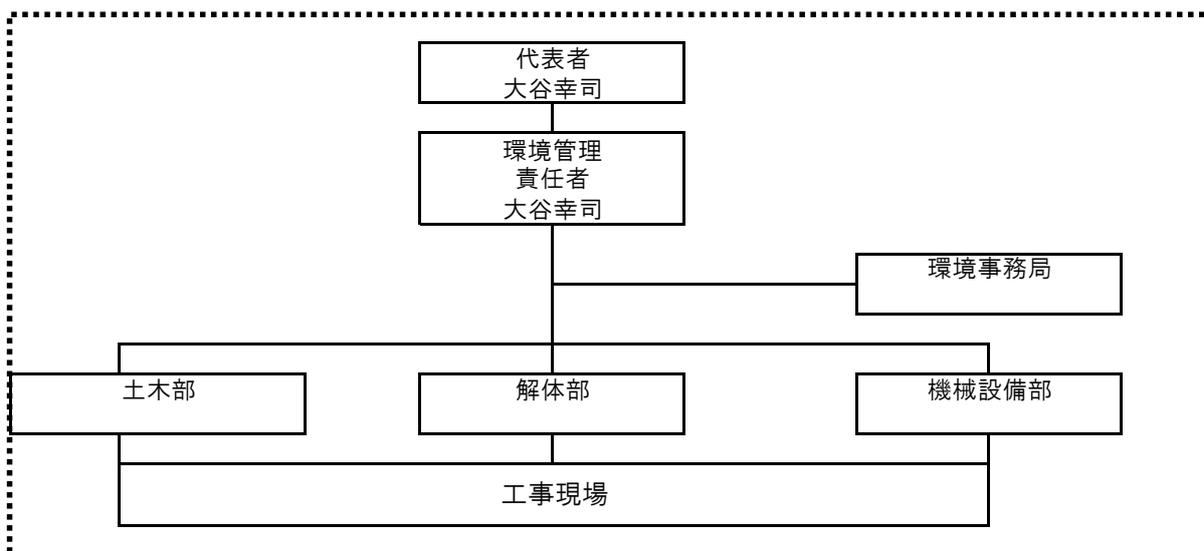
- (1) 名称及び代表者名  
有限会社 大谷建設  
代表取締役 大谷幸司
- (2) 所在地  
本 社 兵庫県豊岡市野田146番地の1  
岩井営業所 兵庫県豊岡市岩井1705番地
- (3) 環境管理責任者及び担当者の氏名と連絡先  
責任者 代表取締役 大谷 幸司 tel : 0796-34-6282  
担当者 伊木 萌子 fax : 0796-34-6281  
email : info@econachu.com
- (4) 事業内容  
土木工事業、解体工事業、機械器具設置工事業  
産業廃棄物収集運搬業（積替え・保管を含まない）  
兵庫 兵庫県知事許可 第02807202459号 令和5年 8月31日 許可  
有効期限 令和10年 8月30日  
京都府知事許可 第02600202459号 令和6年 1月29日 許可  
有効期限 令和10年 11月11日  
鳥取県知事許可 第03101202459号 令和5年 9月11日 許可  
有効期限 令和10年 9月10日  
許可品目： 廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、  
ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず  
(石綿含有産業廃棄物を除く。)
- (5) 設立 2001年7月9日
- (6) 資本金 5百万円 受託した産業廃棄物の収集運搬量（2023年6月～2024年5月）40.46t
- (7) 事業の規模  
①建設業 年間工事完成高 167百万円（2023年度）
- 各事業所の規模
- |       | 本社   | 岩井営業所・資材置場 | 合計     |
|-------|------|------------|--------|
| 従業員   | 1名   | 9名         | 10名    |
| 延べ床面積 | 20㎡  | 150        | 170㎡   |
| 敷地面積  | 300㎡ | 1300㎡      | 1,600㎡ |
- 車両・重機等
- | 区分   | 名称      | 台数 | 型式・性能              |
|------|---------|----|--------------------|
| 運搬車輛 | 4tダンプ   | 1  |                    |
|      | 3tダンプ   | 2  |                    |
|      | 2tダンプ   | 1  |                    |
| 重機   | バックホウ   | 1  | 0.28m <sup>3</sup> |
|      | バックホウ   | 1  | 0.1m <sup>3</sup>  |
|      | タイヤショベル | 1  | 1.0m <sup>3</sup>  |
|      | タイヤショベル | 2  | 0.4m <sup>3</sup>  |
- (8) 事業年度 6月～翌年5月

## 3. 認証・登録の対象範囲

登録組織名： 有限会社 大谷建設  
対象事業所： 本社、岩井営業所  
対象外： なし  
活動： 土木工事業、解体工事業、機械器具設置工事業、産業廃棄物収集運搬業

4. 実施体制

有限会社大谷建設 実施体制図及び役割・責任・権限表



役割・責任・権限	
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を</li> <li>環境管理責任者を任命</li> <li>経営の課題とチャンスの整理、明確化</li> <li>環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を承認</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施</li> <li>環境経営レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>環境関連法規等の取りまとめ表を承認</li> <li>環境経営目標・環境経営計画書を確認</li> <li>環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>環境経営レポートの確認</li> </ul>
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局</li> <li>環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>環境経営目標、環境経営計画書原案の作成</li> <li>環境活動の実績集計</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表の作成及び最新版管理</li> <li>環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）</li> </ul>
部門長	<ul style="list-style-type: none"> <li>自部門における環境方針の周知</li> <li>自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>時部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施</li> <li>自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成</li> <li>試行・訓練を実施、記録の作成</li> <li>自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
工事責任者 （現場代理人）	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設現場における環境経営システムの実施</li> <li>工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施</li> <li>建設現場の環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>緊急事態対応訓練の実施、記録の作成</li> <li>建設現場での問題点の発見、是正、予防措置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## 5. 主な環境負荷の実績

項目	単位	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	100,459	77,148	100,461	80,816	66,314	75,700
電力使用量	kWh	5,699	6,312	6,570	9,654	11,648	19,002
ガソリン使用量	L	6,325	5,482	7,105	8,509	9,093	8,557
軽油使用量	L	31,964	23,702	15,676	21,926	15,677	18,794
灯油使用量	L	568	470	480	514	354	407
廃棄物排出量	t	608.00	651.52	508.50	832.73	820.91	743.91
一般廃棄物	t	0.20	0.52	0.53	0.84	2.79	3.57
産業廃棄物	t	607.8	651.0	508.5	832.7	820.9	740.3

## 6. 環境経営目標及びその実績

### (1) 中期目標

項目	年度	2018年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
		基準年度				
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub>	100,461	96,443	95,438	94,434	93,429
	対基準		△4%	△5%	△6%	△7%
1) 電力使用量削減	kWh	5,699	5,471	5,414	5,357	5,300
	CO <sub>2</sub> 排出係数 0.334	kg-CO <sub>2</sub>	1,903	1,827	1,808	1,789
2) ガソリン使用量削減	L	6,326	6,073	6,010	5,946	5,883
	CO <sub>2</sub> 排出係数 2.32	kg-CO <sub>2</sub>	14,676	14,089	13,943	13,796
3) 軽油使用量削減	L	31,964	30,685	30,366	30,046	29,727
	CO <sub>2</sub> 排出係数 2.58	kg-CO <sub>2</sub>	82,467	79,168	78,344	77,519
4) 灯油使用量削減	L	568	545	540	534	528
	CO <sub>2</sub> 排出係数 2.49	kg-CO <sub>2</sub>	1,414	1,358	1,344	1,329
II. 廃棄物排出量削減						
1) 一般廃棄物 削減	kg	196	188	186	184	182
	対基準		△4%	△5%	△6%	△7%
2) 産業廃棄物 削減 (混合廃棄物)	t	9.4	9.0	8.9	8.8	8.7
	対基準		△4%	△5%	△6%	△7%
III. 建設リサイクル率 の向上	%	96	100	100	100	100
	対基準		+4%	+5%	+6%	+7%
IV. 環境に配慮した 施工の推進	件	2	2.0	2.0	2.0	2.0
	対基準		±0	±0	±0	±0

注) 電力の二酸化炭素排出係数は、関西電力(株)2018年度調整後係数 0.334kg-CO<sub>2</sub>/kWhを使用。

注1. 本社の水使用量は少なく実績不明。岩井営業所は上下水道が無く自然水を使用しており、使用量は実績不明です

注2. 化学物質は使用していません。

## (2) 取組期間の実績

項目	年度	取組期間における実績				
		2018年6月～ 2019年5月	(2023年6月～2024年5月)			
		基準値	目標	実績	達成度	評価
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	100,461	95,438	75,701	126%	○
			△5%	75.35%		
1) 電力使用量削減	kWh	5,699	5,414	19,002	28%	×
CO2排出係数 0.334	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	1,903	1,827	6,347		
			△5%	333.43%		
2) ガソリン使用量削減	L	6,326	6,010	8,557	70%	×
CO2排出係数 2.32	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	14,676	14,089	19,852		
			△5%	135.27%		
3) 軽油使用量削減	L	31,964	30,366	18,794	162%	○
CO2排出係数 2.58	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	82,467	79,168	48,489		
			△5%	58.80%		
4) 灯油使用量削減	L	568	540	407	133%	○
CO2排出係数 2.49	kg-CO <sub>2</sub> 対基準	1,414	1,358	1,013		
			△5%	71.65%		
II. 廃棄物削減						
一般廃棄物 削減	kg 対基準	196	186	3,570	5%	×
			△5%	1821.43%		
産業廃棄物削減 (混合廃棄物)	t	9.4	8.9	4.84	185%	○
			△5%	51.49%		
III. 建設リサイクル率 の向上	% 対基準	96	100	100	100%	○
			+5%	104.17%		
IV. 環境に配慮した 施工の推進	件 対基準	2	2	0	0%	×
			±0	0%	0%	

注1) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注2) 評価欄にて、○：達成（100%以上）、△：やや未達成（95%～100%未満）、×：未達成（95%未満）

注3) 運用期間における建設リサイクル率の実績＝再資源化量（740.337t）／産業廃棄物発生量（740.337t）

注4) 環境に配慮した施工：①環境に配慮した工法の開発、提案、②環境にやさしい資材の採用、③長寿命の資機材への切替え

## 7. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
<b>二酸化炭素排出量の削減</b> (目標達成)		
(下記の通り)		(下記の通り)
<b>電力使用量の削減</b> (目標未達成)		
・空調温度の適正化 (冷房28℃暖房20℃)	△	エアコン使用が増えている。継続して呼びかける。
・不要照明の消灯	○	順調・継続する
・残業を自粛	○	声かけを行い効果があった
・終業時にコンセントを抜く	○	スイッチ付コンセントを購入し、手元で操作できるようにした。
<b>ガソリン使用量の削減</b> (目標未達成)		
・アイドリングストップ	○	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・急加速・急停車の防止	○	普段より安全運転に注意しているのでまずまずできた。
・エリア別営業活動の見直し	○	乗り合わせにより目標達成
<b>軽油使用量の削減</b> (目標達成)		
・急発進、急加速禁止	○	もっと意識をしエコドライブを実行する。
・乗合移動の励行	○	乗り合わせにより目標達成
・車両更新時に省エネ型に！	○	監督員の車両を低燃費の車両に変えた。
<b>灯油使用量の削減</b> (目標達成)		
・不要場所、不要時の停止	○	声かけを行い効果があった
・室温管理 (20℃を基準)	○	寒い日もあるが順調・継続する
・残業を自粛	○	声かけを行い効果があった
<b>一般廃棄物の削減</b> (目標未達成)		
・分別の徹底	○	社内・場内の整備を行った。いらないものを処分する事。
<b>建設リサイクル率の向上</b> (目標達成)		
・分別によるリサイクル推進	○	リサイクルできるようしっかりと分別をした。引き続き、最終処分の量を減らすこと
<b>環境に配慮した施工の推進</b> (目標未達成)		
・ICTを活用しCO2削減を目指す	○	今後も更に受注を増やす。
		環境配慮型の商品をできるだけ探し、使用する。

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約、マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	建築物等の分別解体義務、事前届出 特定建設資材廃棄物の再資源化義務	遵守
同省令	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	遵守
家電リサイクル法	特定家電製品4品目の廃棄時の適正な処分	—
自動車リサイクル法	使用済自動車の適正な事業者（引取登録事業者）への引き渡し	—
大気汚染防止法	特定粉じん排出等作業の実施の届出、作業基準の遵守	—
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止 規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	遵守
オフロード法	基準に適合した特定特殊自動車の使用	—
低騒音・低振動型建設機械の規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の促進	遵守
排出ガス対策型建設機械普及促進規程	低排出ガス対策型建設機械の使用の普及・促進	遵守
消防法	消火器の点検	遵守
フロン排出抑制法	該当機器の有無の確認・発注元への説明	—
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者（家電販売店）への引き渡し	—

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。  
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

## 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

環境配慮の意識の高まる中、働き方改革や労働賃金の値上げなど働く環境が変わってきています。自社でも環境配慮型の新車の購入、労働賃金の値上げ、また現場における整備を行い働きやすい環境を作り出す努力を行ってきました。現場における整備ではリサイクル業者（中間処理業者）を選定し、リサイクル率を高めると共に分別の徹底を行うことにより資源の再利用を促進してきました。今後も日々努力をおこない人にも物にもよい環境作りを目指していきます。

項目	見直し要否	見直し内容
環境経営方針	否	—
環境経営目標	否	—
環境経営計画	否	—
実施体制	否	—
その他	否	—

2023年 6月 30日  
代表取締役 大谷 幸司

## 10. 環境への取組の紹介



< 電気自動車の導入 >



< EV充電 >



< ①ゴミの分別 >



< ②ゴミの分別 >



< ①省エネ >



< ②省エネ >



< 消火訓練 >



< 清掃活動 >

## 11. ICTを活用した工事の実施



ICT活用工事



効率の良い現場施工



効率の良い重機の作業  
(低燃費作業=CO2削減)